

# 英語を楽しく

## ☆ 会話で使ってはタブー表現

国が違うことは、文化が違うだけでなく習慣・考え方が違うと考えるのが当然。話す内容によって互に傷つけられたり、傷つけたりするものです。そのようなことは意識してさげたいものです。そこで、日本人の視線から見て、相手側に言ってはいけないこと書いてみたいと思います。

### ① プライバシーに関わること

- Are you single(or married)?    • How old are you?
- What does your husband(or wife)do?
- Why don't you get married?

これらのことは、話しているうちにわかることですし、またわからなくてもいいことですね。

### ② 相手国の思いや文化を否定すること

Really/Still などの副詞を使って、相手の国情や生活風習に対して否定的な言葉を言うこと

Aの例

相手国の人; My country is a developing country, but I believe that it becomes immediately like Japan.

日本国の人; Do you really believe so? I think your country is still a developing country even if ten years has passed.    immediately (ただちに) ・ developing (発展上の)

Bの例    相手の国の人に向かって

日本国の人; We, the Japanese take a bath every day. However you will only wipe a body with water five times every day. (私たち日本人は、毎日お風呂に入ります。でも、あなたは、毎日5回水で体を拭くだけでしょ。)

We, the Japanese の言い方はとても傲慢な感じがする-海外の人にたいへん嫌われる言い方一日に5回(とは限らない)水で体を拭くことは、この国の習慣で大変清潔なことを毎日している、と考えている。(この国では「日本人は、1日に1回しか体を綺麗にしない不潔な国民と思っている人もいる。)習慣や考え方の違いですね。

